

平成 25 年 9 月 6 日

西日本鉄道株式会社

弊社バスグループ アルコール検知における不正行為防止策について

西日本鉄道株式会社では、8 月 24 日に発生しました西鉄観光バス(株)北九州支社のバス運転士が関与したモバイル型アルコール検知の不正なすり抜け行為(以下、「不正行為」という)に関連しまして、本日午前 10 時、九州運輸局に対し弊社バスグループにおける内部調査の結果と不正行為防止策を提出いたしました。

不正行為を防止するための取り組みを着実かつ迅速に進め、より厳正なアルコール検知と服務規律の徹底を図り、西鉄バスグループ一丸となって安全の確保と信頼回復に努めてまいります。

なお、提出の概要は下記のとおりです。

記

◆ 内部調査の結果について

1. 調査の実施概要

西鉄バスグループ 12 社※の過去 1 年(2012 年 9 月 1 日～2013 年 8 月 31 日)において、非対面での検知における全ての検知画像(モバイル型 66,859 件、固定型 101,170 件、合計 168,029 件)の再チェックを行いました。

2. 調査結果

不正行為と思われるものはありませんでした。

◆ 不正行為防止策について

1. すでに実施済みのもの

(ア) ドライブレコーダーの前での検知の義務付け

モバイル型検知器で検知を行う際、バスに設置したドライブレコーダー用のモニターカメラに写る状態で行うよう内規を改めました。(8 月 25 日)

(イ) 各営業所長・支社長による運転士への個別面談

西鉄バスグループ 12 社全ての運転士(4,519 名)に対し、ドライブレコーダーの

前での検知(上記ア)の徹底、勤務宿泊先での飲酒禁止の徹底、服務規律の遵守を求めるとともに当該案件について感じることを聞き取る個別面談を行いました。(8月25日～9月5日)

(ウ) 検知画像チェックの徹底

モバイル型検知器および固定型検知器から送信されてくる検知画像について、画像を拡大し検知の様子に不自然な点がないかを十分確認するよう内規を改めるとともに、運行管理者に徹底しました。(8月26日)

(エ) 西鉄社長メッセージの拡大掲示

西鉄バスグループ12社全ての職場内に、飲酒運転の撲滅を求める西鉄社長メッセージを拡大掲示しました(8月27日～)

2. 今後実施するもの

(ア) ライブ動画による点呼

タブレット型端末を導入し、遠隔地での全ての出退勤についてライブ動画による点呼と検知を行います。(年内に導入)

(イ) 検知用マウスピースの改良

検知の際に使用するマウスピース(ストロー)を、加工しづらい金属製に切り替えます。(年内に導入)

(ウ) 飲酒等の抜き打ち検査の強化

運行管理者が勤務宿泊先へ抜き打ちで出向く、飲酒の有無、所持品、点呼・検知の実施状況等の検査を強化します。

以上

※西鉄バスグループ12社…西日本鉄道、西鉄バス北九州、西鉄高速バス、西鉄バス二日市、西鉄バス宗像、西鉄バス筑豊、西鉄バス久留米、西鉄バス大牟田、西鉄バス佐賀、日田バス、亀の井バス、九州急行バス